



NEWS : Industrial Research Institute of Gifu Prefecture



ネジバナ 振花通信

工技研ニュース 2014.5.No.9

- 所長ごあいさつ
- 研究成果発表会のご案内
- 平成 25 年度の依頼試験と開放機器利用の状況について

○ 所長ごあいさつ（新所長就任）

4月より工技研の所長を拝命しました。昨年度までは県庁研究開発課で県内試験研究機関全体の研究開発の推進に努めてまいりましたが、改めてよろしくお願ひいたします。

平成 25 年度は前年度に引き続き、ぎふ技術革新センターの設備を大変多くの方にご利用いただくことができました。依頼試験は、平年並みの約 1,900 件（依頼件数）で推移しました一方、機器利用は昨年度比 80%増の約 1 万 2,300 時間と平成 23 年度に革新センターを併設してから毎年増加しております。県内中小企業の皆様の積極的なご活用に感謝申し上げますとともに、今後ともご利用いただきますようお願いいたします。

県では、この3月に策定した「岐阜県成長・雇用戦略」の中で、「航空宇宙」「医療福祉機器」「医薬品」「食料品」「次

世代エネルギー」の5分野を本県の成長分野と位置付け、重点的に企業の集積・規模拡大を図るとともに、「観光」を基幹産業と位置付け消費拡大を図っていくことになっております。また、工業系試験研究機関の機能強化のため、成長産業の発展に向けた研究機関の新たな役割・機能・組織の再構築に取り組んでいくことになりました。

本研究所は工業系研究機関の中核・代表機関として、今後とも県内企業の方々にご利用・ご活用いただく試験研究機関として努力してまいりますので、ご支援賜りますようお願いいたします。

岐阜県工業技術研究所長 村田明宏



○ 研究成果発表会のご案内

【主 催】岐阜県工業技術研究所
 【日 時】平成 26 年 6 月 3 日（火）13:30～16:30（受付 13:00～）
 【会 場】岐阜県工業技術研究所 本館 2 階講堂
 〒501-3265 岐阜県関市小瀬 1288

【口頭発表内容】13:35～16:10

- 熱可塑性 CFRP の立体成形技術の確立
- 熱可塑性 CFRP の研削加工技術の確立
- CFRP の切削加工技術開発の取組み
- CFRP のレーザ加工技術に関する研究^{※1}
- 長寿命化に向けた金型への表面処理技術の開発
- 薄板のプレス焼き入れ技術に関する研究
- ハイスベクト形状の精密座標測定を可能とする回転振動型ハイスベクトタッチプローブの開発^{※1}
- 包丁を使いやすくする柄の表面形状の触覚による官能評価

【パネル発表】14:40～15:00（口頭発表休憩時間に開催）

- 鋳物製品の内部欠陥の低減に関する研究
- 固体潤滑剤を鑄ぐるんだ潤滑プレートの開発

- 自己組織化膜による刃物の表面改質技術の開発
 - 消失模型鋳造法によるアルミニウム合金の薄肉中空鋳造技術の研究と生産技術の確立^{※2}
 - 内部急冷凝固法による金属プレス金型材料の高度化・高品質化技術の確立^{※2}
 - 熱可塑性 CFRP 材による風力発電用ブレードの中空構造ハイスイクル成形及び溶着技術に係る研究開発^{※2}
 - 液圧を活用した、三次元形状パイプの芯金レス穴加工用金型技術の開発^{※2}
- ※1（独）科学技術振興機構／研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム A-STEP
 ※2 経済産業省／戦略的基盤技術高度化支援事業

【所内見学】16:10～16:30

研究開発に使用しました設備を中心に所内をご案内します。パネル発表も行います。（担当研究員がご説明します）

【申込み方法】

当所ホームページから申込書をダウンロードし、FAX 送信、またはメールにてお申込みをお願いいたします。

【問い合わせ先】

岐阜県工業技術研究所 tel:0575-22-0147 fax:0575-24-6976
e-mail:uketsuke@metal.rd.pref.gifu.jp 担当：千原、小川

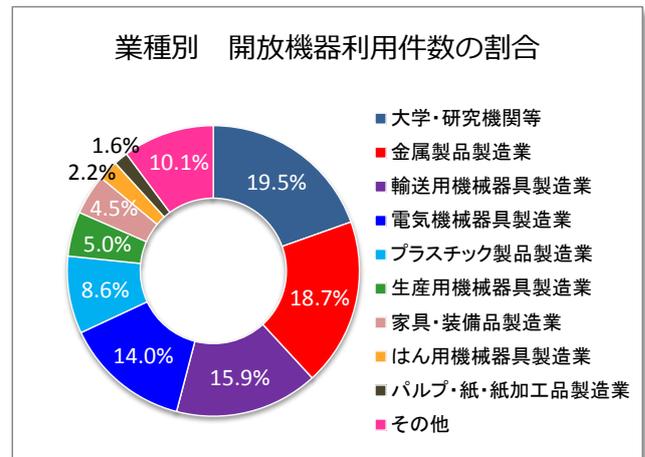
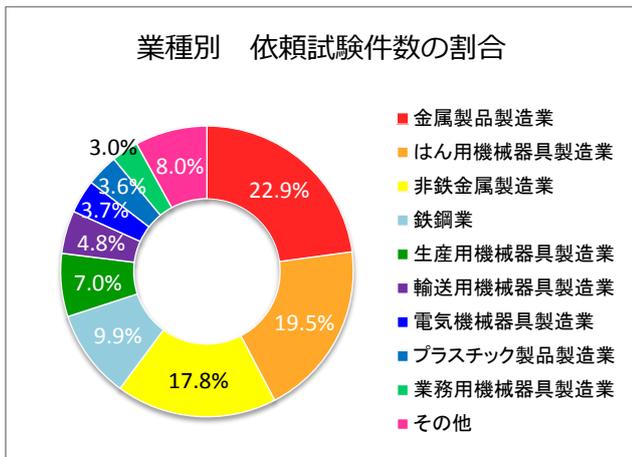
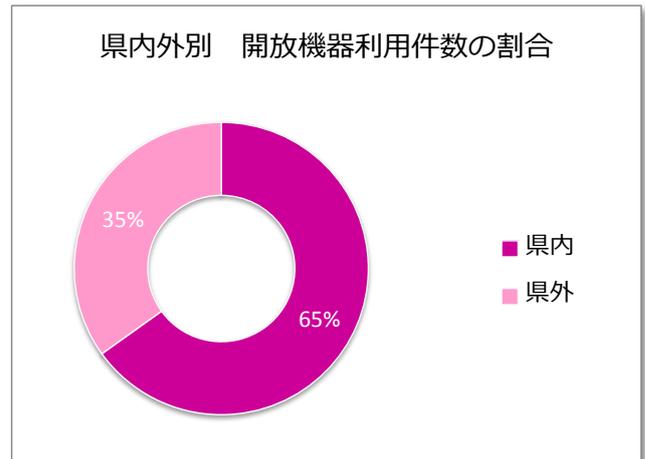
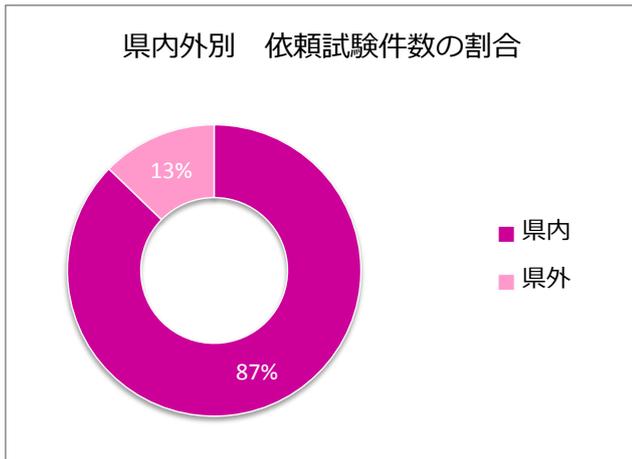
○ 平成 25 年度の依頼試験と開放機器利用の状況について

当所は、地域産業を技術的側面から支援することを目的に、主に刃物、機械・金属業界の方々を対象に、製品開発・品質管理・クレーム解析等に必要となる、材料分析・各種顕微鏡観察・機械的試験・非破壊検査・精密測定・電気試験等の依頼試験及び開放機器利用サービスを実施しております。平成 23 年度に併設した、ぎふ技術革新センターの設備増強により、利用件数は年々増加傾向にあり大変混み合っています。円滑な依頼試験・開放機器利用サービスのご利用のために、あらかじめ電話による利用予約を行った上、ご来所くださるようお願い致します。

【平成 25 年度実績】

依頼試験数 1,908 件（試験件数 7,507 件）

開放機器利用件数 12,318 件（1 時間 1 件換算）



依頼の多い試験項目（試験件数ベース）

① 引っ張り、圧縮、曲げ等	16.0%
② 定量	14.2%
③ 耐食性試験	9.8%
④ 電界放射走査電子顕微鏡	8.3%
⑤ 観察用料調整	7.5%
⑥ 三次元測定	6.4%
⑦ 切れ味試験	5.0%
⑧ 力学的強度試験	3.8%

利用の多い開放機器（利用件数ベース）

① 万能試験機	20.8%
② 恒温恒湿器	18.4%
③ コンパクト油圧加振器	10.7%
④ 恒温恒湿室	9.0%
⑤ レーザー顕微鏡	4.0%
⑥ X線CTシステム	3.0%
⑦ 精密平面研削機	2.8%
⑧ 超音波検査装置	2.1%